

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	ビジネス応用	科目名	ビジネストピックスII			科目コード	T1710A2			
配当期	前期	授業実施形態	通常			単位数	2単位			
担当教員名	味舌啓之	履修グループ	2I(BI/BO)			授業方法	講義			
実務経験の内容	約30年となる税理士業務を主として、東証一部上場企業の監査役、複数社の取締役、相談役等を経験してきたため、幅広い業種業界の企業・その経営者と接点がある、そこで培った知識・経験を学生諸君に現場の生の声として伝えていければと考える。									
学習一般目標	皆さんは来春には新社会人として、または編入で大学生として新たなスタートを迎えます。社会人にとって「信用・信頼」というものがいかに大切なものか？どうすれば得ることができるのか？どうして失うのか？よく考えねばなりません。1年時の授業内容を膨らませた形での知識を習得し、あらゆる方面でのコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。									
授業の概要および学習上の助言	経済の基本的な大筋を理解するとともに、毎週ビジネスに関するタイムリーな情報を習得するため、授業当日前週間に新聞において取り上げられた記事や、直近の経済誌などからレジュメを作成し、授業当日の資料とする。就職面接時における時事等の質問にも対応できる知識の習得を目指したい。提供された資料にただ目を通すだけでなく、ぜひとも自分のものにしてもらいたい。									
教科書および参考書	特になし、毎時間こちらで準備します 新聞各紙、日経ビジネス・東洋経済等のビジネス雑誌その他									
履修に必要な予備知識や技能	日々生活の中で、経済・経営・個別企業の動きについて感心をもってニュース報道や新聞記事に接しておくことが望ましい。 簿記・ビジネス能力検定等の各種資格取得に向けての学習									
使用機器	特になし									
使用ソフト	特になし									
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が達成すべき行動目標							
	1 2 5		ビジネスに関する新聞記事・経済専門誌を抵抗なく読みこなすことができる							
	1 2		社会人として知っておくべき基本的なビジネス用語を身につけることができる							
	1 3 5		マクロ・ミクロにわたる経済・社会・個別企業の動向について理解を深めることができる							
	1 2 5		日常生活・就職活動において、経済等の内容でのコミュニケーション能力を高めることができる							
	1 2 5		自分自身の考えを、自分の言葉で表現することができる							
達成度評価	評価方法		試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計
	総合評価割合		40	15	15				30	100
	学部 D P	1.知識・理解	20	5	5					30
		2.思考・判断	20	10	10					40
		3.態度							10	10
4.技能・表現										

	5.関心・意欲							20	20
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点							
	試験	定期試験は口頭式を主体として、習得知識の確認と理解力を問う							
	クイズ 小テスト	授業時間内にふれたビジネス用語等について、確認のためミニテストを実施する 文章表現・言葉の使い方について社会人らしい表現の仕方に注意する							
	レポート	不定期に、資料を読んで要点をまとめる形で実施する							
	成果発表 (口頭・実技)								
	作品								
	ポートフォリオ								
	その他	来春、社会人となることを強く自覚できているか あらゆる出来事に関心を持って接しているか 何事にもポジティブにとりくむ姿勢がうかがえるか							

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /			
第2週 /			
第3週 /			
第4週 /			
第5週 /			
第6週 /			
第7週 /			
第8週 /			
第9週 /			
第10週 /			
第11週 /			
第12週 /			
第13週 /			
第14週 /			